

かんぼの宿白石について

高橋 鈍 斎

〔質疑〕この施設は3月末閉鎖と決定しているが、唯一街の中心にある温泉施設で、他にない街の特色、閉鎖すれば一層白石が寂れる様を感じる。

一方小原スパッシュランドは、大量の重油使用で一層赤字経営である。平成14年12月に1億円の補修をしている。平成18年度予算は8千万円

をこえる経費で、近頃、温泉成分無しと判明し再度温泉として復活するためにどれだけ費用がかかるか予想困難な現状である。

この際費用のかかるスパッシュランドを大幅に見直し、かんぼの宿を市が譲り受ける考えはないのか。

ボランティア活動団体への支援窓口の設置について

四 竈 英 夫

〔質疑〕市民のためにボランティア活動を続けている団体がたくさんあるが、これらに対する支援窓口を設置する考えはないか。

例えば、不登校やひきこもりなど、精神的に不安定な子どもたちに、自然環境で心を癒し、もとの元気な生活を取り戻してもらおうとしてい

る団体や耳の不自由な方たちのために、手話の勉強をしたり、レクリエーションなどの楽しみを提供している団体もある。

こうした地道な活動を続けている団体やグループが、気軽に相談したり、指導を受けることのできる窓口を設ける考えはないか。



3月末で営業を閉じた かんぼの宿白石

〔答弁〕1月に日本郵政公社を訪問し、本市の状況と要望をしている。内容は、現段階では当該施設を利用した事業及びその付近での事業計画がないことから、市としては購入する予定は現時点ではないこと。ただし、派遣社員等50名が解雇される状況は地域経済に与える影響も大きいので、スムーズに譲渡が行われる雇用が継続されることが望ましいこと。また、一般競争入札ではどのような業者が入ってくるか不明であり、大きな

問題になる可能性がある一方で、一般競争入札での売却は望ましくないことを伝えている。市の方にも問い合わせがあることから、目安となる売却価格の提示なども要請している現状である。庁内に関係部課長による「かんぼの宿白石対策会議」を設置し、今後の市としての対応がどうあるべきかなどについて話し合いを続けているが、結論に至っていない。

〔その他の質問〕
①大平一本木(市道)について

〔答弁〕本市の支援は、白石市社会福祉協議会がその役割を担っている。社協は民間の社会福祉活動推進するために、社会福祉法に基づき設置された民間組織である。また、社協は、民生委員、児童委員、社会福祉施設、社会福祉法人等関係者、保健・医療・教育等関係機関の参加・協力のもと、地域の人々が住みなれたまちで安心して生活することができるよう活動を行っており、地域の様々な社会資源とのネットワークを有してお

〔その他の質問〕
①集落営農組織の推進と担手の育成について

